



ソフトウェアリポジトリ

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [フォルダの作成およびファイルのアップロード \(1 ページ\)](#)
- [フォルダの管理 \(3 ページ\)](#)
- [ファイルの管理 \(5 ページ\)](#)

概要

IMM 移行ツール 4.0.1 で、ソフトウェアリポジトリとしてツールを使用して、Operating System images (ISO)、Server Configuration Utility (SCU) またはファームウェアパッケージを管理およびホストできます。Intersight でこれらの画像を同期したら、これらの画像を使用して、Cisco UCS サーバーにオペレーティングシステムをインストールし、ファームウェアをアップグレードできます。

ソフトウェアリポジトリに新規フォルダを作成し、ファイルをアップロードできます。詳細については、次のセクションを参照してください。

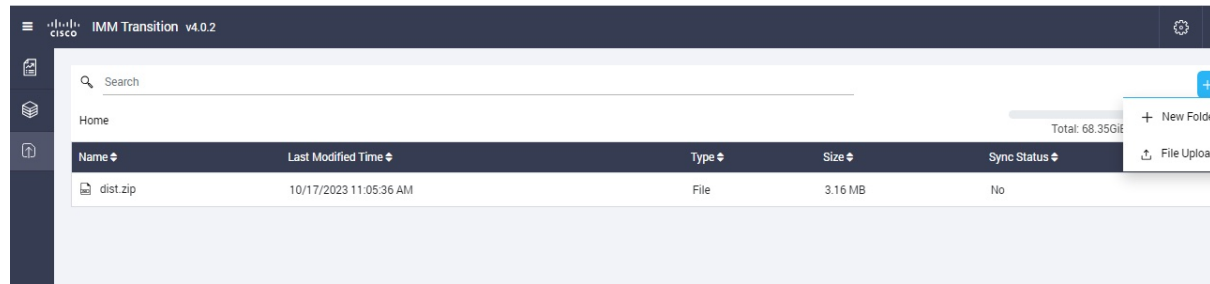
- [フォルダの作成およびファイルのアップロード](#)
- [フォルダの管理](#)
- [ファイルの管理](#)

フォルダの作成およびファイルのアップロード

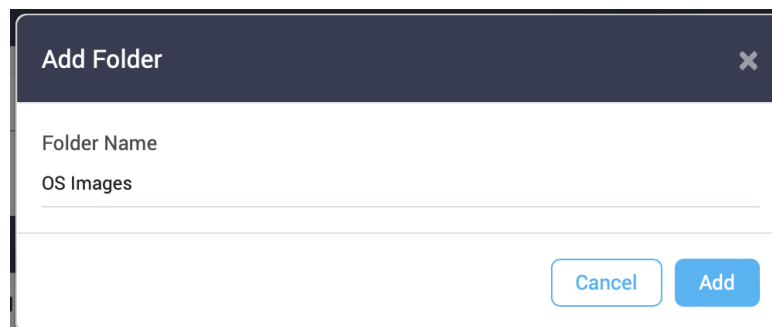
フォルダの追加

要件に従って iso ファイルをグループ化し、別のフォルダに保持できます。以下に説明するように、新規フォルダは IMM 移行ツールのソフトウェアリポジトリで作成できます。

1. [ソフトウェアリポジトリ (Software Repository)] に移動します。
2. 以下のスクリーンショットに示すように、[新規 (New)] をクリックします。



3. [新規フォルダ (New Folder)] をクリックします。
4. フォルダの名前を入力します。



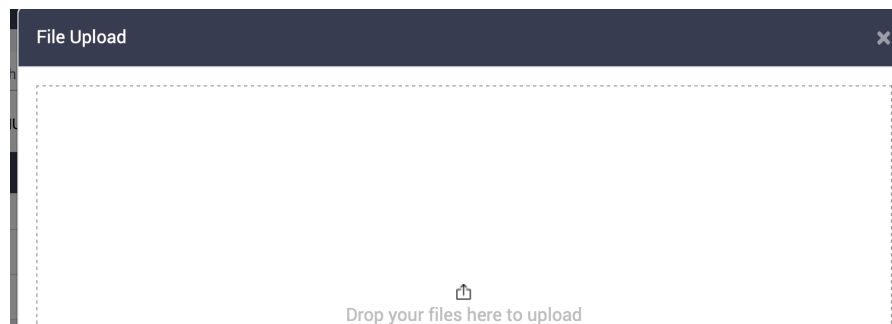
5. [追加 (Add)] をクリックします。
新規フォルダが作成されます。

ファイルをアップロードしています

次の手順を実行し、ソフトウェアリポジトリに iso ファイルをアップロードします。

1. [ソフトウェアリポジトリ (Software Repository)] に移動します。
2. 以下のスクリーンショットに示すように、[新規 (New)] をクリックします。
3. [ファイルのアップロード (File Upload)] をクリックします。

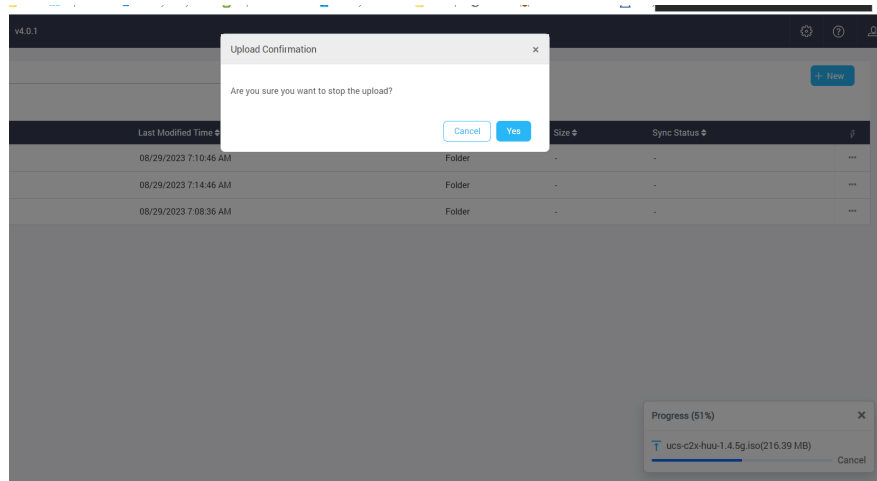
ファイルブラウザウィンドウが表示されます。



4. ローカルシステムからファイルをドロップします。

5. [Upload] をクリックします。

ファイルがソフトウェア リポジトリにアップロードされます。



(注) [進行中 (Progress)] ポップアップ ウィンドウの [キャンセル (Cancel)] をクリックすると、確認ダイアログ ボックスが表示されます。

[はい (Yes)] をクリックして、ファイル [アップロード (Upload)] 操作をキャンセルします。

フォルダの管理

[ソフトウェア リポジトリ (Software Repository)] タブの一覧ページでは、フォルダに属さないフォルダおよびファイルのリストを表示します。フォルダを名前変更、移動、削除してフォルダを管理できます。

以下のアクションを実行して、**Software Repository** 一覧ページからフォルダを管理できます。

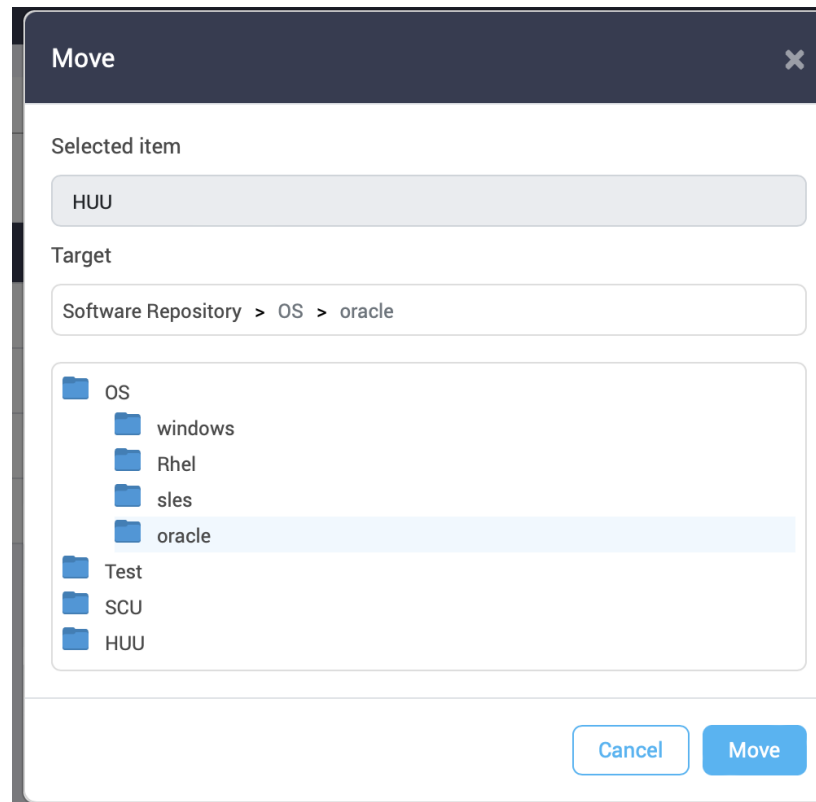
- 管理するフォルダ行の横にある [...] をクリックします。

Name	Last Modified Time	Type	Size	Sync Status	
OS	08/21/2023 5:27:03 PM	Folder	-	-	
Test	08/22/2023 12:37:21 PM	Folder	-	-	Rename
SCU	08/22/2023 1:48:51 PM	Folder	-	-	Move
					Delete

- フォルダの名前を変更する場合には、[名前の変更 (Rename)] をクリックします。

- ポップアップ ウィンドウが表示されます。
- フォルダに新しい名前を入力します。

3. [保存 (Save)] をクリックします。
- フォルダを他のフォルダ内に移動する場合は、[移動 (Move)] をクリックします。
 1. ポップアップ ウィンドウが表示されます。
 2. 現在のフォルダを移動する必要があるフォルダをクリックします。



3. [移動 (Move)] をクリックします。
- リポジトリからフォルダを削除する場合、[削除 (Delete)] をクリックします。



(注)

- フォルダの名前が変更されると、このフォルダ内のファイルへの外部リンクは更新する必要があります。
- フォルダが移動または削除される場合：
 - このフォルダ内のファイルへの外部リンクは更新する必要があります。
 - [Intersight への同期 (Sync to Intersight)] アクションは、このフォルダ内のすべてのファイルに対して無効になります。
 - このフォルダ内のファイルの計算されたチェックサムはすべて失われます。

ファイルの管理

ソフトウェア リポジトリにアップロードされた iso ファイルは、特定のフォルダに属していない場合、またはアップロードされた特定のフォルダ内にある場合は、一覧ページで表示できません。

以下の手順を実行して、ソフトウェア リポジトリでファイルを管理します。

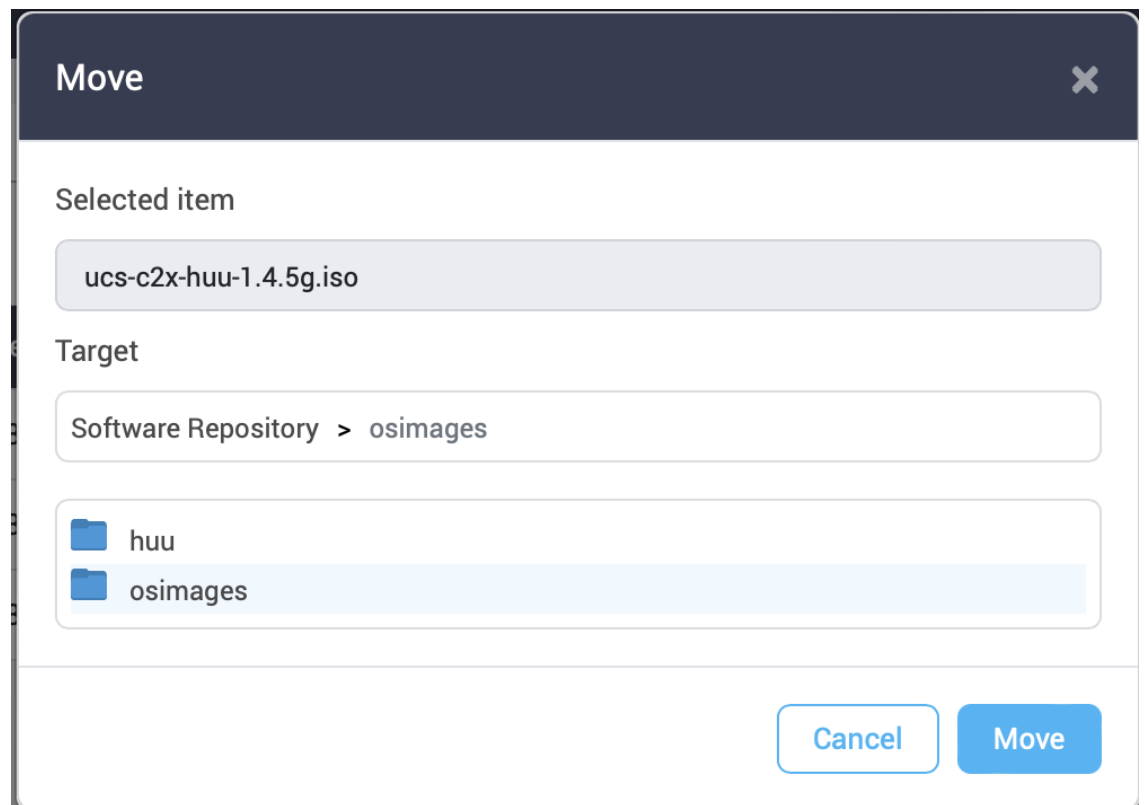
1. ファイルが存在するフォルダに移動します。
2. 管理するファイル レコードの最後にある [...] をクリックします。

ファイルの名前変更：

- 1. [Rename] をクリックします。
ポップアップ ウィンドウが表示されます。
- 2. ファイルの新しい名前を入力します。
- 3. [Save] をクリックします。

ファイルの移動：

- 1. [移動 (Move)] をクリックします。
ポップアップ ウィンドウが表示されます。
- 2. ファイルを移動する必要があるフォルダをクリックします。



3. [移動 (Move)] をクリックします。

ファイルの削除：

- [削除 (Delete)] をクリックします。

別のツールを使用するファイルの場所を共有する：

- 1. [リンクの共有 (Share Link)] をクリックします。
ポップアップ ウィンドウが表示されます。
- 2. [Copy] をクリックします。
ファイルの場所がクリップボードにコピーされ、必要に応じて使用できます。

ファイルのチェックサムの計算：

- 1. [チェックサム (Checksum)] をクリックします。
ファイル チェックサムのポップアップ ウィンドウが表示されます。
- 2. [チェックサムの計算 (Calculate Checksums)] をクリックします。
チェックサム値が表示されます。

File Checksums

File Name : ucs-c2x-huu-1.4.5g.iso

md5

0fdd365fa8553034b217e328cb2d337a

Copy

sha1

0247c97c0bce3746e7eb8cca66be3a0ab3ec0299

Copy

sha256

f1acedf649bc654e20d8844fef5c84d7662589b02199982a14846beff2

Copy

Calculate Checksums

Intersight へのファイルの同期 :

- **[Intersight への同期 (Sync to Intersight)]** をクリックします。
- 詳細については、「[Intersight へのファイルの同期](#)」を参照してください。



(注)

- ファイルの名前が変更されると、ファイルへの外部リンクを更新する必要があります。
- ファイルが移動または削除される場合 :
 - ファイルへの外部リンクを更新する必要があります。
- **[Intersight への同期 (Sync to Intersight)]** アクションは、ファイルなどに対して無効になります。
- すべてのファイルの計算されたチェックサムが失われます。

Intersight へのファイルの同期

IMM 移行ツールのソフトウェア レポジトリにあるアップロードされた iso ファイルは、以下の手順を実行して、Intersight ソフトウェア レポジトリへリンク可能です。

1. ファイルが存在するフォルダに移動します。
2. 同期するファイル レコードの最後にある **[..]** をクリックします。

3. **[Intersight への同期 (Sync to Intersight)]** をクリックします。

ポップアップ ウィンドウが表示されます。

4. 利用可能なデバイスのリストから、**[Intersight デバイス (Intersight Device)]** を選択します。



- (注) **[OS/ファームウェア データのフェッチ (Fetch OS/Firmware data)]** を定期的をクリックすることをお勧めします。これにより、最新の OS およびファームウェア データすべてが Intersight アカウントからフェッチされます。

5. ソフトウェア レポジトリ リンクを保存する組織を選択します。

6. 自動選択された値が間違っている場合、またはツールがファイルタイプを自動検出できない場合、ファイルの画像タイプを手動で選択します。

7. 自動選択された値が間違っている場合、またはツールがファイルタイプを自動検出できない場合、OS 画像の詳細を設定または変更します。

8. **[送信 (Submit)]** をクリックします。

画像を Intersight に同期し、Intersight GUI の **[システム> ソフトウェア レポジトリ (System> Software Repository)]** の **[ファームウェア リンク (Firmware Links)]**、**[OS 画像リンク (OS Image Links)]**、または **[SCU リンク (SCU Links)]**、または **[OS 変換ファイル (OS Configuration File)]** タブ に表示されます。



- (注) ファイルやフォルダが移動されるたびに、ソフトウェア レポジトリ リンクは自動的更新されません。リンクを手動で削除し、**[Intersight への同期 (Sync to Intersight)]** を再度実行する必要があります。

vMedia ポリシーの作成

次の手順で、ソフトウェア リポジトリでホストされている ISO ファイルから Intersight vMedia ポリシーを作成できます。

vMedia ポリシーの作成方法：

1. **[ソフトウェア レポジトリ (Software Repository)]** ページに移動します。
2. vMedia ポリシーの作成に使用する ISO ファイルの横にある **[...]** をクリックし、ドロップダウンリストから **[vMedia ポリシーの作成 (Create vMedia Policy)]** を選択します。
[vMedia ポリシーの作成 (Create vMedia Policy)] ダイアログボックスが表示されます。
3. 利用可能なデバイスのリストから、**[Intersight デバイス (Intersight Device)]** を選択します。

注記：[OS/ファームウェア データのフェッチ（Fetch OS/Firmware data）]を定期的にクリックすることをお勧めします。これにより、最新の OS およびファームウェア データすべてが Intersight アカウントからフェッチされます。

4. ソフトウェア レポジトリ リンクを保存する組織を選択します。
5. ポリシーの名前を入力します。
6. （任意）ポリシーの短い説明を入力します。
7. （任意）key value 形式でタグを入力します
8. [低電源 USBを有効にする（Enable Low Power USB）]をオンにすると、イメージをマッピングしてホストを再起動した後に、ブート選択メニューに仮想ドライブが表示されます。このプロパティは、デフォルトで有効になっています。
9. 仮想メディア通信の暗号化を有効にするには、[仮想暗号化の有効化（Enable Virtual Encryption）] ボタンをオンにします。このプロパティは、デフォルトで無効になっています。
10. デフォルトでは、vMedia マウント名は、vMedia ポリシーの作成に使用される ISO ファイルの名前に設定されます。この名前は必要に応じて変更できます。
11. [Submit] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。